

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

「多面的機能の維持・発揮活動 第14回みえのつどい」を開催しました



廣田副知事の挨拶



基調講演の様子

令和5年12月23日(土)三重県総合文化センターにおいて、『明日へとつながる、みえの輪』をテーマに第14回みえのつどいを三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会の主催で開催しました。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことを受け、参加者の人数制限を設けずカフェテリア方式でのワークショップも再開し、県内の活動組織や県内外の関係者約1,050名の参加がありました。

「みえのつどい」は、平成20年度から継続している大規模イベントで、このイベントに参加される活動組織が他組織の活動事例や取組姿勢に触れることで、今後の農地・水・環境の良好な保全活動をより一層活発に取り組んでいたため、このイベントの場としても活用いただいております。今回のつどいでは地域活動の担い手人材の発掘・育成といった観点での基調講演と3つの分科会を行いました。

当日は三重県廣田副知事の主催者挨拶の後、全国水土里ネット会長会議宮崎顧問、農林水産省東海農政局森

局長及び三重県議会杉本副議長からご祝辞をいただきました。

その後、基調講演では、有限会社エコカレッジ代表取締役 尾野寛明氏より『地域の担い手人材発掘・育成』と題してご講演をいただき、尾野氏の経験や知見を通して、「無理しない地域づくり」の考え方や「次世代の担い手を地域の活動に巻き込む」ヒントを学びました。

休憩後、参加者は各テーマごとに3つの会場に分かれ分科会の研修を受けました。

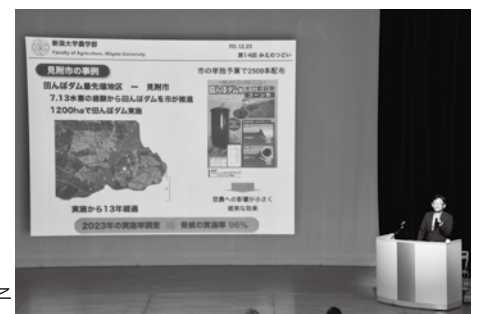
第1分科会では、「地域資源を守る基礎知識を学ぼう」をテーマに農研機構による機械の安全使用と補修技術の説明を受けました。

第2分科会では、「田んぼダムによる流域治水」をテーマに新潟大学 吉川教授による田んぼダムのしくみ、田んぼダムの効果等の講演を受けました。

第3分科会では、「広域化への道のり」をテーマに、多気の彩土里会 小林会長による事例発表の後、グループ



第1分科会の様子



第2分科会の様子



第3分科会の様子

に分かれ意見交換を行いました。

また、セミナー室Aの農業や農業施設の維持に関する最新の技術や製品を紹介する企業PR展示コーナーでは、多くの参加者が会場内に設けられた企業ブースを移動し、興味あるブースの担当者から説明を受けていました。併設のセミナー室Bでは、安全研修・組織運営・補修技術DVD放映を行い、より良い活動のヒントにさせていただくことができました。

また、中ホールロビー、多目的ホールロビーでは、活動組織紹介、田んぼダムの紹介、三重県からのPRが展示され参加者は時間の合間を見計らって見入っていました。

上記内容をもって、「第14回みえのつどい」は盛会裏に終了しました。

今後もこうした「みえのつどい」の場を通じて、県内の農地・水・環境の良好な保全活動を支援してまいります。



企業PR展示コーナーの様子



中ホールロビーの様子